



真庭市立木山小学校

きやま協働通信



木山小HP

文責：木山小学校長

地域が学校（子ども）を元気にし

元気になった学校（子ども）が地域を元気にする

学校・家庭・地域でこんな子どもを育てよう（コミュニティスクール目標）
お互いの良さが認め合える子どもの育成 ～自分が好き 人も好き 故郷（ここ）が好き～

午年 3学期スタート



1月7日（水）始業式

玄関には、5年生がお飾りづくりを教
えていただいた時にお手本で持ってきて
くださったお飾りを飾りました。

児童昇降口には、5年生児童が作った
お飾りを飾りました。



朝、寒い中でしたが、始業式をしました。2学期終業式は、インフルエンザ
が流行っていて、各教室でオンラインで実施しました。子どもたちが集まって
いる姿にとてもうれしく思いました。合言葉は「自分からチャレンジ」の話を
しました。午年には力強いエネルギーがあります。火の力が強く、太陽のよう
に明るく元気に大きく前に進み、成長できる年です。それぞれが目標に向かっ
て頑張りましたと話しました。

木山地区もみんなの力で、太陽のように明るく元気にしていきましょう。

本年もどうぞよろしくお願いいたします。

地域とともにある学校 木山小学校

地域とともにある学校とは

学校に関わる大人同士が「どのような子どもに育てたいの
か」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有
し、学校と地域がパートナーとして連携・協働しながら学び
を展開していく学校のことです。



学校運営協議会委員さんには、共同経営者として、学校の在り方について話を
していただき、発信、取組をしています。学校関係者評価もしていただき、今年
度の振り返りと次年度への方向性を考えています。

2月20日9時30分から木山小学校で今年度最後の学校運営協議会を開きま
す。令和8年度の学校経営の基本方針についても協議していただきます。

学校を核とした地域づくり

学校を核とした地域づくりとは

教育課程の実施に当たって、地域の人的物的資源を活用したり、放課後や土曜日等を活用した社会教育との連携を図ったりし、学校教育を学校内に閉じずに、その目指すところを社会と共有・連携しながら実現させることです。

このことが実現できていると感じています。ありがたいことです。

冬休み中の子どもたち

12月24日「きやまっこ」

12月24日きやまっこに行ってみると、子ども食堂「アツとホーム」から届いたカレーライスを食べ終わったところでした。とってもいい顔をしていました。



地域食堂 KATTAKITCHEN憩

12月25日は、KATTAKITCHEN憩におじゃましました。子どもたちの居場所づくりをしていただいていることに感謝です。



ええところ

1月8日に読み聞かせボランティアの方が来てくださいました。福島さんと田中さんです。1年生教室では、「ええところ」という本を読んでもうくださいました。

自分に良いところがないと感じる小学1年生のあいちゃんが主人公。背が低く足が遅い自分に自信がもてないあいちゃんが、友達のともちゃんに「私のいいところ教えて!」と尋ねるが、すぐには答えてもらえず落ち込む。しかし、翌日もちゃんが「あいちゃんのいいところ、見つけたよ!」と教えてくれたことから、自分や友達の良いところに気づき、自己肯定感を育む心温まる物語でした。

2年生は、「千支の始まり」の本に聞き入っていました。



お知らせ

次回ブックるん：1月22日（木）13：00～13：30

次回資源回収：2月14日（土）・15日（日）